

平成19年度会務・会計報告



幹事長報告

平成19年度日本弁理士クラブ
幹事長 大西正悟

平成19年度は日本弁理士クラブ創立60周年に当たりますが、このような大きな節目の年に幹事長の大役を仰せつかりました。役不足で至らない点が多い幹事長でしたが、政策委員長（本年度幹事長）の栗原史生先生、60周年記念事業実行委員会委員長（本年度政策委員長）の清水善廣先生のご協力の下、副幹事長、幹事の先生方全員でなんとか乗り切ることができました。これら先生方および日本弁理士クラブ会員の先生方に、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

すでに何度も報告しておりますが、昨年度日弁幹事会はスローガン「対話と協調・進むべきは同じ道」を掲げ、日本弁理士クラブと同様な性格の弁理士連合クラブ、西日本弁理士クラブとの協調を図り、弁理士法の改正等、種々の事項について、日本弁理士会のサポートを行うという方針で望みました。弁理士連合クラブとの合同旅行を行う等、弁理士連合クラブ、西日本弁理士クラブとの協調を図るという点ではある程度の結果はあったかと思うのですが、その他の点では能力不足で至らなかった点が多く反省しております。例えば、日本弁理士クラブの第1回相談役会でもご指導を受けたのですが、政策提言団体としての日本弁理士会の役目、特に日本弁理士会のサポートすなわち中島会長を初めとする執行部のサポートという点と、日本弁理士会への人材供給すなわち役員、委員選出母体としての役割、特に役員選出選挙対応という点では全然至らなかったと反省しております。

役員選挙に関しては、中島淳会長が2年任期であり会長選挙は行われず、副会長、常議員および監事

の選出のための選挙が行われました。これに対しては、村木清司委員長をはじめとする日本弁理士クラブ協議委員会（選挙対策委員会）の委員の皆様の活躍の下、無投票で日本弁理士クラブからの推薦者全員が当選するという結果となりましたが、もう少し別の好ましい形での結果となればという思いもありました。

一方、上述した弁理士連合クラブとの合同旅行は約120名の参加者という大きな規模となり、翌日の12組の合同ゴルフコンペはも晴天に恵まれ、心に残る行事でした。また、清水善廣委員長をはじめとする委員の皆様の活躍で、日本弁理士クラブ創立60周年記念行事を盛大に行うことができたことも非常に感謝しております。その他の行事については、別途会務報告に詳しく紹介されることと思いますが、個人的には、ボーリング大会に参加し、P A会の優勝メンバーの一人に加えて頂いたのも楽しい思い出です。

田舎育ちの常識のない、どちらかという型破りの幹事長で、日本弁理士クラブの会員の皆様にとっては歯がゆいばかりで多大なご迷惑をおかけしたことと思います。ただ、スローガンとして掲げた「対話と協調、進むべきは同じ道」という考えは今でも変わっておりません。弁理士試験合格者が600名～700名になり、日本弁理士会の会員数が7000名を越える中、日本弁理士クラブをはじめとするクラブ組織の会員数が占める割合が低下しつつあります。しかしながら、弁理士会の役員および委員の人材の大多数はクラブ組織から送られているという現状から見て、日本弁理士クラブをはじめとするクラブ組織の役割は重要で、お互いの対話と協調は今後とも不可欠であると考えます。

以上とりとめのない報告となりましたが、昨年度1年間にわたって幹事長を無事務めさせて頂きましたことを感謝いたします。



平成19年度 日弁政策委員会活動報告

政策委員長 栗原 史生

1. 委員会構成

委員長	08558	栗原 史生 (南甲)
副委員長	11562	濱中 淳宏 (P A)
同	09990	西出 眞吾 (春秋)
同	09297	真田 有 (南甲)
同	10723	米山 尚志 (無名)
同	07753	飯塚 義仁 (稲門)
委員	09150	井出 正威 (P A)
同	12862	穂坂 道子 (P A)
同	09574	開口 宗昭 (春秋)
同	10753	磯貝 克臣 (春秋)
同	08906	向山 正一 (南甲)
同	12839	服部 秀一 (南甲)
同	13483	瀧野 文雄 (南甲)
同	09832	高松 俊雄 (無名)
同	10035	江藤 聡明 (無名)
同	10114	神田 正義 (無名)
同	09680	岡崎信太郎 (稲門)
同	11260	金原 正道 (稲門)

2. 諮問事項

- ① 弁理士法改正に伴い発生する課題等の検討、及び、その対応策等の弁理士会等に対する具申。
(主として、弁理士会副会長からの検討依頼に基づくが、会員側(日弁側)からの自主的な検討及び具申を必要に応じて行いたい。)
- ② 会長2年制の下、会長選挙がない年度における日弁の選挙組織のあり方、及び日弁協議委員長の推薦ルールの検討。
- ③ 委員等の推薦手順もしくはルールの検討。現在、弁理士会役員及び委員会役員の推薦手順はほぼ決まっているが、支部役員及び委員(特に関東支部の)や、弁政連の役員及び委員の推薦については曖昧であったので、一定のルールを策定するように検討する。弁理士役員及び委員の推薦手順を

含め、これらを明文化することを検討する。

3. 委員会開催実績

第1回委員会	6月6日(水)
第2回委員会	7月18日(水)
第3回委員会	8月24日～9月12日(メール会議)
第4回委員会	9月19日(水)
第5回委員会	10月17日(水)
第6回委員会	11月21日(水)
第7回委員会	12月19日(水) *幹事会と合同

4. 審議

第1回は自己紹介などの後、大西幹事長から各諮問事項の説明を頂き、これについての質疑応答及び自由な意見交換を併せて行った。

第2回は特に諮問事項①に対応するために今年度弁理士法改正内容を委員間の共通認識としておく必要があると考え、弁理士法改正内容に知悉しておられる伊丹勝先生(法改正担当の昨年度副会長、今年度例規改正特別委員会委員長)と伊藤高英先生(研修所所長)をお招きしてご説明いただき、その後の懇親会の場を含めて活発な議論を行った。両先生には紙面をお借りして改めて謝意を表する次第である。

第3回は、山川副会長から「グループ信託」についての意見具申の要請があったことに対応するため、副委員長を通じて各派で意見聴取したものを委員長がまとめて日弁の意見として提出した。この問題は形式と実質の二面性を考慮しなければならず、弁理士会ないし弁理士として非常に大きな問題であるが、委員会を開催している時間的余裕がなく、また、必ずしも現時点で委員会として十分な情報共有がなされていないと考えられたため、各派での意見聴取をお願いしてメール会議の形を取らせていただいた。

第4回以降は諮問事項②及び③について意見交換及び議論を進めた上で答申を行った。

5. 答申の骨子

(1) 諮問事項②に対する平成19年11月19日付答申の骨子は次の通りである。

次年度会長選挙が実施されない年度(「空白年度」)

における日弁協議（選対）委員長を推薦するためのルールを策定するに当たっては、①同一会派からの日弁協議・選対委員長が2年（以上）続く事態はできるだけ避けるべきであること、及び、②日弁内各派が応分の負担を分かち合うよう配慮すべきであることが望ましいと考えられ、この観点から、i) 直近の会長の所属会派から協議・選対委員長を推薦すること、ii) 前年度の協議（選対）委員長の所属会派以外の会派からの選出を基本とすること、及び、iii) 協議・選対委員長が各会派の応分の負担となるように配慮することを原則的ルールとする。しかしながら、もとよりこのルールは絶対的ではないし、あくまでも、空白年度の協議・選対委員長を推薦する年度一年限りの単年度ルールとして適用されるべきものである。空白年度に協議・選対委員長を推薦した会派が、次年度（つまり、その次の年度の会長を選出するための選挙がある年度）にも協議（選対委員長）を推薦することを妨げるものとして適用してはならない。

(2) 諮問事項③に対する平成19年12月19日付答申の骨子は次の通りである。

関東支部の役割が今後益々重要になることに鑑みて、同支部の役員・委員の推薦については、本会の役員および委員の推薦と同様に、日弁として対応する。日弁は、本会の役員および委員と関東支部の役員および委員との重複をできるだけ避けるよう配慮し、且つ、日弁内各会派のバランスなどを配慮した上で、本会および関東支部の役員・委員として適切な人材を推薦する。本会の役員および委員の推薦については「日本弁理士会役員推薦基準」および「日本弁理士会委員等推薦基準」が存在するので、関東支部の役員および委員の推薦についても、これらの基準を勘案して「日本弁理士会関東支部役員推薦基準」および「日本弁理士会関東支部委員等推薦基準」を策定すべきである。

弁政連は本会の總會承認を経て設立された準公的性格を持った団体であり、本会の活動を政治的側面からサポートし、過去においても法改正等において重要な役割を果たしてきた実績があり、その重要性は今後益々大きくなっていくものと思われる。しか

しながら、一方では、弁政連に加入するか否かは個人の思想・信条に委ねられており、本会の会員や支部会員のように全ての日弁会員が所属しているわけではない。この点で、本会や支部の役員人事に対する姿勢とは一線を画すべきであるとの意見も強い。また、弁政連の活動内容は、国会、官公庁に向けた対外的な折衝がほとんどであり、本会会員や日弁会員に向けた直接の活動を行っているわけではなく、本会及び支部の活動とは大きく相違している。これらの事項に鑑み、当委員会では、現時点で、弁政連の人事に対して日弁が責任を持って対処することをおお前提として推薦ルールを策定することは困難であるとの結論に至った。ただし、弁政連の重要性は前述の通りであるから、日弁ないし日弁会員としては、弁政連の活動を理解していくよう努めるべきである。このような努力を重ねていくことによって日弁がどのような形で弁政連の活動に関与するのか、その方向性が定まっていけば、自ずから、弁政連の役員および委員人事に対する日弁としての協力体制を構築していく道筋も開かれるであろう。

6. その他

現行の役員制度や支部制度そのもの、あるいはさらに選挙制度などについても、その適否を含めて様々な意見があることは承知しており、これらについても日弁政策マターとして積極的に議論を重ね、必要に応じて意見を述べていくことはきわめて重要であろうと思われる。しかしながら、現行の役員制度は今年度スタートしたばかりであってそのメリット・デメリットを踏まえてさらなる改正を議論するには余りにも実証期間が短すぎる。関東支部も実質発足からようやく1年を過ぎたばかりで、ようやく活動が軌道に乗りかけている時期である。このような状況に鑑みて、今年度の政策委員会ではこれら現行制度の是々非々を議論することは避けることとした。次年度以降において活発な議論が進展することを期待するものである。



選挙対策委員会 (協議委員会) 報告

委員長 村 木 清 司

1. 開催回数

協議委員会（各派幹事長、選挙責任者、立候補
予定者等との合同会も含む） 4回
選挙対策委員会（祝賀会も含む） 3回

2. 委員会の構成

委員長	村木 清司 (PA)
委員長補佐	浅村 皓 (PA)
副委員長	笹島富二雄 (春秋)
同	一色 健輔 (PA)
同	河野 哲 (南甲)
同	吉岡 宏嗣 (無名)
同	飯塚 義仁 (稲門)
委員	杉本ゆみ子 中村 修身 大澤 豊 出野 知 (春秋)
同	柳田 征史 (PA)
同	中村 仁 須藤 浩 津田 理 (南甲)
同	富崎 元成 津久井照保 香原 修也 (無名)
同	貝塚 亮平 (稲門)

3. 審議結果

① 副会長候補者として、下記の会員の推薦を決定する。

8005	西郷 義美 (春秋)
9280	羽鳥 亘 (無名)
9297	真田 有 (南甲)
9533	福田 伸一 (PA)

② 監事候補者として、下記の会員の推薦を決定する。

6990	幸田 全弘 (南甲)
9591	沼形 義彰 (春秋)

③ 関東選挙区常議員候補者として、下記の会員の推薦を決定する。

7911	藤村 元彦 (春秋)
8154	亀川 義示 (無名)
8315	櫻木 信義 (PA)
8848	松山 允之 (春秋)
9301	望月 良次 (PA)
9854	阿部 伸一 (春秋)
10114	神田 正義 (無名)
10281	島田 哲郎 (春秋)
10776	伊東 忠重 (PA)
11178	石渡 英房 (PA)
11244	山田 哲也 (南甲)
11260	金原 正道 (稲門)
11308	宮永 栄 (南甲)
12023	石橋 良規 (南甲)

④ 東海選挙区常議員候補者として、下記の会員の推薦を決定する。

10298	井上 佳知 (南甲)
10906	中村 敬 (春秋)

4. 選挙の結果

当選人確定 平成19年10月9日 (火)

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| ① 副会長選挙 | 無投票当選 |
| ② 監事選挙 | 無投票当選 |
| ③ 常議員選挙 (関東選挙区) | 無投票当選
ただし、候補者のうち1名は立候補を撤回 |
| ④ 常議員選挙 (東海選挙区) | 無投票当選 |

5. 当選祝賀会

平成19年12月12日 (水)
如水会館 スターホールにて

6. 補足説明

本年度は、会長任期2年制がスタートして2年目の、会長選挙がない初めての年であった。また、昨年度の情勢を鑑みると、副会長選挙においては投票選挙になることも十分考えられた。

これらの状況を考慮して、本年度の対応について、委員の間で検討を行った。しかし、次年度会

研修委員会報告

委員長 今井 貴子

長が日弁外の会員であり、本年度積極的に特別な動きをする理由が見当たらなかったこともあり、結論としては例年に沿った活動方針で進めることとなった。

結果、副会長選挙、監事選挙及び常議員選挙の東海選挙区では定員オーバーはなく、常議員選挙の関東選挙区にて、立候補者が定員を1名オーバーすることとなった。しかし、推薦会派の意向もあり、選挙戦突入とはせずに、1名の候補者が立候補を辞退して、全ての選挙について、無投票当選が確定した。

1名辞退という事態になったことは誠に残念であったが、当選された方々には、それぞれの立場で、辞退された方々の分まで、立派に職責を果たされることを期待したい。

なお、協議委員会にて選挙への対応を協議する際、避けて通れない話題として、会長選のない年や会長を推薦しない年における人事や選挙組織のあり方、近年増加しているとされる、登録年数の浅い無会派の会員の投票行動を見据えた選挙運動のあり方、さらには日本弁理士会の役員制度自体のあり方などが挙がってくる。

しかし、このような重大な問題について、選挙準備を始めてから討議するのでは有効な結論が出るはずもなく、また、協議委員会のみで何らかの決定ができるような性質の問題でもない。

選挙と関連づけるにせよ関連づけないにせよ、これらの問題については、日弁全体で常に考えていくべきであろうし、またこれが、選挙での好ましい結果にも繋がるのではないか。

最後に、本年度の協議委員会及び選挙対策委員会の活動にご協力頂いた委員、各派幹事長他、多くの会員の皆様に、厚く御礼申し上げて、筆を置かせて頂く。

以上

平成19年度研修委員会につきまして、以下の通りご報告致します。

1. 開催回数

研修委員会	1回
研 修 会	9回

2. 委員会の構成

委員長	今井 貴子 (南甲)
副委員長	高橋 大典 (南甲)
委 員	森 俊晴 (P A)
	深澤 拓司 (P A)
	伊藤 温 (春秋)
	佐藤 秀昭 (春秋)
	苔米地正啓 (南甲)
	今岡 憲 (無名)
	齋藤 康 (無名)
	林 秀男 (稲門)
	岩田 啓 (稲門)

3. 研修内容

- (1) 旅行会における研修会 (弁理士連合クラブと共同開催)

日 時	: 6月23日
会 場	: 水上温泉
内 容	: 平成19年改正法の解説
講 師	: 田村 爾 先生
	: 香原修也 先生
	: 本宮照久 先生
受講者	: 約100名

- (2) 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

特定侵害訴訟代理業務試験対策研修として、以下の2つの研修会を行いました。

- ① 試験対策説明会&過去問解析講座

日 時 : 7月10日、7月13日、7月27日、

8月10日、8月24日
いずれも18:30~20:30まで

会 場：日本弁理士会館
講 師：弁護士 山口 健司 先生
村田 実 先生
神林恵美子 先生
奥田 弘之 先生
近藤 祐司 先生

受講者：約70名

内 容：

- 第1回 合格者による試験対策説明会
- ・日常業務で特許を主に扱う先生による、商標関係の勉強方法・合格答案の書き方
 - ・日常業務で商標を主に扱う先生による、特許関係の勉強方法・合格答案の書き方
 - ・平成18年度合格者の受験した感想・勉強方法
- 第2回 H15年度過去問解析講座
第3回 H16年度過去問解析講座
第4回 H17年度過去問解析講座
第5回 H18年度過去問解析講座

② 答案練習会（模擬試験）

日 時：9月5日、9月18日、10月2日
いずれも18:00~21:00まで

会 場：日本弁理士会館
講 師：弁護士 窪田英一郎 先生
受講者：約100名

内 容：

- 第1回 特許法関連模擬答練
第2回 商標法関連模擬答練
第3回 小問模擬答練、講評、解説

以上

会報委員会報告

委員長 岩 永 和 久

平成19年度会報委員会につきまして、次の通りご報告致します。

1. 委員会の構成

委員長	岩永 和久（春秋）
副委員長	有原 幸一（春秋）
委員	富所 英子（PA）
	森本 久実（PA）
	辻田 幸史（春秋）
	川村 武（南甲）
	飯村 重樹（南甲）
	高林 芳孝（無名）
	鶴目 朋之（無名）
	細田 浩一（稲門）
	倉持 誠（稲門）

2. 活動内容

- (1) 会報「日弁」の発行
- (2) ホームページ委員会への情報提供

3. 会合および審議内容

会合は1回のみ開催し、その後は電子メール等を使って、作業を進めました。

日弁60周年記念特集号ということもあり、例年に比べて予算が多く配分されたので、ページ数も増やし、60周年記念事業の様子を垣間見ることのできる会報を発行することができました。





規約委員会報告

委員長 西 良久

平成19年度の規約委員会の構成および審議内容等について、下記の通りご報告いたします。

1. 委員会の構成

委員長 西 良久（無名）
 副委員長 山田 哲也（南甲）
 高久浩一郎（稲門）
 委員 網野 友康（P A）
 佐藤 美樹（春秋）

2. 会合及び審議内容

第1回

開催日時：平成19年5月29日（木）
 午後7時～9時

場 所：弁理士会館地下会議室

議 事：日本弁理士クラブ規約についての検討

- 1) 担当を以下の通り決定した。
 会計 山田 哲也
 書記 高久浩一郎
- 2) 会合は定例日を設けず、必要に応じて開催することとした。
- 3) 日本弁理士クラブ規約に関してフリートーキングを行った。

以上



ホームページ委員会報告

委員長 西 岡 邦 昭

平成19年度のホームページ委員会の構成及び審議内容等について、次の通りご報告いたします。

(1) 委員会の構成

委員長 西岡 邦昭（P A）
 副委員長 速水 進治（春秋）
 小川 嘉英（南甲）
 中野 寛也（稲門）

委員 上田 和弘（P A）
 佐々木敦朗（無名）

(2) 会合及び審議内容

第1回

開催日時：平成19年5月29日 午後7時～9時
 場 所：日本弁理士会館地下1階第7、8会議室

- 議 事：1. 幹事長挨拶、出席者紹介、事業計画・諮問事項の説明等
 2. H P委員会への諮問事項
 ・ホームページの維持・管理
 ・会報委員会との連携

(3) ホームページのコンテンツの主な更新

- ・[07/06/12] 平成19年度日本弁理士クラブ特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会「第1段」のご案内をお知らせ一覧に掲載
- ・[07/08/02] 平成19年度日本弁理士クラブの役員・委員をお知らせ一覧に掲載
- ・[07/08/02] 平成19年度日本弁理士クラブ特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会「第2段」のご案内をお知らせ一覧に掲載
- ・[07/08/07] 8/20(月)南甲弁理士クラブ主催の知的財産実務研修会(第5回)「著作物の翻案について」のご案内をお知らせ一覧に掲載
- ・[07/08/16] 9/03(月)南甲弁理士クラブ主催の知的財産実務研修会(第6回)「弁理士が行う知的財産価値評価の実務」のご案内をお知らせ一覧に掲載
- ・[07/08/20] 平成19年度日本弁理士クラブの事業計画をお知らせ一覧に掲載
- ・[07/08/20] 平成19年度幹事長のご挨拶(大西正悟)をお知らせ一覧に掲載
- ・[07/09/13] 10/05(金)南甲弁理士クラブ主催の知的財産実務研修会(第7回)「著作権の間接侵害」のご案内をお知らせ一覧に掲載
- ・[07/10/26] 11/14(水) P A会第2回国際研修セミナー「E P O、ドイツ及び日本における進歩性判断の対比」のご案内をお知らせ一覧に掲載
- ・[08/01/18] P A会主催国際研修セミナー(第3回)「米国商標法の解説」のご案内をお知らせ一覧に掲載

以上

平成19年度会合行事記録

平成19年度副幹事長
青 木 篤

平成19年	総会・例会	幹事会	相談役会	委員会	その他
2月		2/13 第1回正副幹事会			
3月	3/13 第1回例会	3/5 第2回拡大幹事会			3/15 東海協議会現役員慰労会・新役員激励会 3/16 西日本弁理士クラブ現役員慰労会・新役員激励会
4月	4/24 第2回例会	4/5 第3回幹事会			4/16 旅行会打合せ 4/26 旅行会打合せ(連合と合同)
5月	5/15 第1回総会			5/11 第1回60周年記念事業実行委員会	5/10 旅行会打合せ(連合と合同)
6月	6/23, 24 旅行会(水上温泉) (連合との合同開催) ○参加者数(121名) 日 弁: 57名 連 合: 55名 西日本: 9名 6/24 ゴルフ大会 (群馬C.C.) (連合との合同開催)	6/7 第4回幹事会	6/11 第1回相談役会	6/4 第2回60周年記念事業実行委員会 6/6 第1回政策委員会	
7月		7/26 第5回幹事会 & 納涼会		7/ 2 第3回60周年記念事業実行委員会 7/10 特定侵害訴訟代理業務試験対策研究会 7/18 第2回政策委員会	7/14, 15 西日本弁理士クラブ親睦旅行会(加賀山代温泉)
8月				8/ 2 第一回日弁協議委員会(拡大) 8/ 6 第4回60周年記念事業実行委員会 8/24 特定侵害訴訟代理業務試験対策研究会 8/28 第5回60周年記念事業実行委員会	
9月	9/28 日弁創立60周年記念式典・祝賀会(グランドプリンスホテル赤坂) ○出席者数: 145名	9/4 第6回拡大幹事会		9/ 5 特定侵害訴訟代理業務試験対策研究会 9/12 第3回政策委員会 9/13 第6回60周年記念事業実行委員会 9/19 第4回政策委員会	
10月	10/26 第3回例会 (常議委員会議案三派説明会と同一会合)	10/4 第7回幹事会		10/ 2 特定侵害訴訟代理業務試験対策研究会 10/11 第5回政策委員会 10/17 第6回政策委員会	
11月		11/12 第8回幹事会		11/21 第7回政策委員会	
12月	12/3 第4回例会	12/19 第9回幹事会 & 忘年会	12/4 第2回相談役会	12/19 第8回政策委員会	12/12 平成20年度日本弁理士会役員当選祝賀会(如水会館) 12/13 日弁60周年記念ボウリング大会(田町ハイレーン)
平成20年 1月	1/18 第2回総会・新年会 (東商スカイルーム)				1/26 日弁60周年記念テニス大会(品川プリンス高輪テニスセンター)

委員会は一部を記載



平成19年度総会承認事項

平成19年度副幹事長
狩野 彰

第1回総会（平成19年5月15日）

- (1) 平成19年度事業計画の承認を求める件
平成19年度事業計画につき賛成多数により承認。
- (2) 平成18年度決算報告の承認を求める件
平成18年度決算報告につき賛成多数により承認。
- (3) 平成19年度予算及び60周年記念事業予算の承認を求める件
平成19年度予算及び60周年記念事業予算につき賛成多数により承認。
- (4) 平成20年度日本弁理士会役員の推薦及び平成20年度日弁役員の選任に関する件
平成20年度日本弁理士会役員の推薦及び平成20年度日弁役員の選任を幹事会に一任する件につき、賛成多数により承認。

第2回総会（平成20年1月18日）

- (1) 平成20年度日本弁理士クラブ幹事長選任の件
平成20年度日本弁理士クラブ幹事長に栗原史生会員を選任する件につき、賛成多数により承認。
- (2) 平成20年度日本弁理士クラブ政策委員長選任の件
平成20年度日本弁理士クラブ政策委員長に清水善廣会員を選任する件につき、賛成多数により承認。
- (3) 平成20年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事、会計幹事選任の件
平成20年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事、会計幹事の選任を平成19年度幹事会及び平成20年度幹事長に一任する件につき、賛成多数により承認。

以上

平成19年度会計報告

平成19年度会計担当副幹事長 榎本 英俊

平成20年度第1回日弁総会におきまして、日弁通常会計報告が承認されましたので、以下にご報告致します。

また、平成19年度第2回日弁総会におきまして、本クラブ60周年記念事業関係の特別会計も承認されましたので、併せてご報告致します。

(1) 通常会計

(単位：円)

収入の部

前年度会計からの繰越金
各クラブ分担金
60周年記念事業残金
研修委員会残金
協議委員会残金
利息

合 計

支出の部

例会・総会
幹事会
会報委員会
協議委員会
政策委員会
規約委員会
HP委員会
研修委員会
連絡協議会
相談役会
旅行会
旅行会ゴルフ大会補助
新年会
ボウリング大会補助
テニス大会補助
庶務
慶弔費
渉外・交通
幹事長渉外費
予備費
次年度活動準備費

合 計

(2) 特別会計

第30回ボウリング大会報告

(単位:円)

実行委員・記録係 林 秀 男

収入の部

各クラブ分担金

出席者会費

普通預金利息

合 計

支出の部

会場費 (式典費を含む)

通信費 (招待者ハガキ代等)

印刷費

書状作成費

記念品代

引出物代 (会場への宅配代金を含む)

冠大会賞品代 (ゴルフ、ボウリング、テニス)

会議費

予備費 (余興演奏の出演料、銀行振込手数料)

合 計

残金

年末恒例の日弁ボウリング大会は、今年記念の第30回を迎え、平成19年12月13日(木)に田町ハイレーンで開催され、46名(女性3名)が参加しました。

3ゲームトータルスコアの上位6名の合計点で争う会派対抗戦では、春秋会の11連覇を阻止して、少数精鋭(6名)のPA会が優勝しました。上位3会派は大接戦を演じました。

3ゲームトータルスコアで争う個人戦は、三上結会員(PA会)が528ピンで初優勝を飾りました。ハイゲーム賞は220ピンで海田浩明会員(南甲)が1位を獲得し、大波賞も併せて獲得しました。小波賞は3ゲームをわずか1ピン差に収めて、今井貴子会員(南甲)が獲得しました。

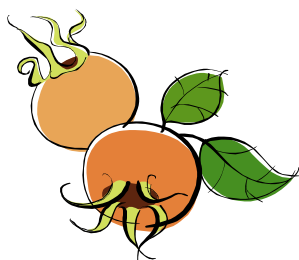
また、3ゲームトータルスコアで争うレディース戦は、玉利房枝会員(春秋会)が309ピンで昨年に続いて優勝しました。

・団体戦

優勝	PA会	2809ピン
2位	春秋会	2801ピン
3位	南甲弁理士クラブ	2792ピン
4位	無名会	2672ピン
5位	稲門弁理士クラブ	2197ピン

・個人戦

優勝	三上 結 (PA)	528ピン
2位	樋口 和博 (春秋)	523ピン
3位	林 剛史 (南甲)	493ピン
4位	海田 浩明 (南甲)	483ピン
5位	矢崎 和彦 (無名)	477ピン
10位	佐藤 辰彦 (春秋)	471ピン
15位	清澤 亮 (南甲)	453ピン
20位	本間 賢一 (春秋)	439ピン
25位	大西 正悟 (PA)	428ピン
30位	村上 晃一 (無名)	395ピン
35位	藤倉 大作 (南甲)	381ピン
40位	中村 仁 (南甲)	332ピン
ブービー	大倉奈緒子 (春秋)	266ピン



・ハイゲーム

優勝	海田 浩明 (南甲)	220ピン
2位	竹山 尚治 (無名)	205ピン
3位	林 剛史 (南甲)	200ピン

・大波・小波賞

大波賞	海田 浩明 (南甲)	89ピン
小波賞	今井 貴子 (南甲)	1ピン

・レディース戦

優勝	玉利 房枝 (春秋)	309ピン
----	------------	-------

日弁60周年記念テニス大会

平成19年度日弁副幹事長 (テニス大会担当幹事)

青 木 篤

「60周年記念の冠大会」

恒例の日本弁理士クラブ (日弁) テニス大会が平成20年1月26日 (土) に開催された。今大会は昨 year が日弁創立60周年であったことから、記念行事の一つと位置づけられ、日弁60周年記念テニス大会として盛大に開催された。このところ大会開催時期が、1月の厳冬期 (今回はあまり厳寒ではなかった。) ということもあり、会場テニスコートは、本年も品川プリンスホテル高輪テニスセンターの室内コートである。各会派から27名のプレーヤーが参加し熱戦が展開された。

「テニス大会について」

本テニス大会は団体戦である。出場選手は所属会派のチームに所属し、会派チーム間の順位は会派チーム間の2試合の対戦成績結果の勝ち点によって決せられる。例えば、2試合全勝の場合は、勝ち点は4.0であり、1勝1分の場合は3点という具合である。全敗の場合は残念ながら0点である。

日ごろの疲れもなんのその、気合の入った熱いプレーが展開された。結果は、春秋会チームが勝ち点

29を獲得し、60周年記念テニス大会の覇者となった。熱戦の後、参加選手はテニスセンター内のレストランに集合し、表彰式 (兼懇親会) が行われた。大西日弁幹事長の挨拶・商品授与に引き続き、参加者全員で乾杯、会派を超えた歓談の輪が広がった。

「参加者と試合結果」

1. 参加者 (敬称略)

無名会 (5名):

田中成志、小川英宣、朴 暎哲、竹本如洋、土井健二

稲門弁理士クラブ (7名):

菊池保宏、榎本英俊、榎本夏海、中野寛也、林 秀男、村瀬 哲、岩田 啓

春秋会 (5名):

沼形義彰、三井和彦、茂泉修司、伏見俊介、磯田志郎

南甲クラブ (6名):

古澤俊明、早崎 修、長谷部善太郎、瀧野文雄、田村 爾、川島麻衣

PA会 (3名):

後藤政喜、斉藤秀俊、平山洲光

2. 成績

- 1位 春秋会 (勝ち点29)
- 2位 南甲クラブ (勝ち点16)
- 3位 無名クラブ (勝ち点13)
- 4位 稲門クラブ (勝ち点12)
- 5位 P A 会 (勝ち点10)

以上

